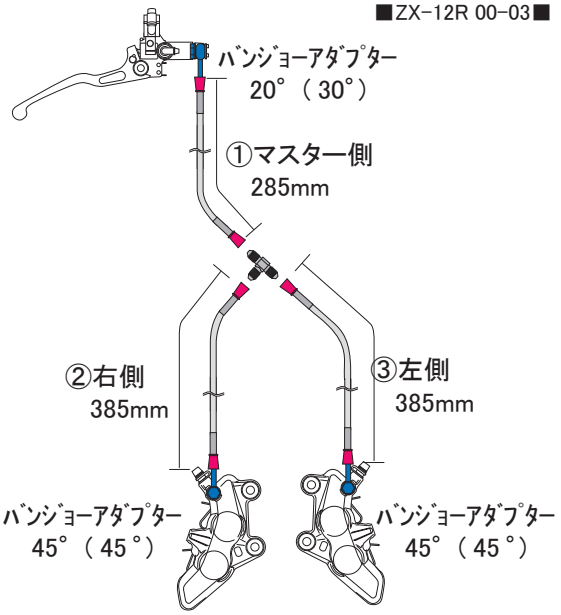
ACTIVE BRAKE HOSE

アクティブ ステンレスメッシュ ブレーキホース

■ZX-12R 00-03■

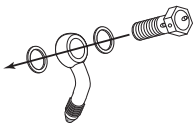


※ホースの長さは全長です。アダプターは含みません。
※アダプターの（）内はACPLです。

ACTIVE ブレーキホース T-タイプはMFJレギュレーションに対応させるためにステムマウントの上側に3WAYアダプターがくるように設定されております。

■ 取り付け方法

1) 保護チューブを3等分し、ホースに保護チューブを通します。
2) 3WAYアダプターを万力等に固定し、①マスター側と②右側を取り付けます。（締め付けトルク：ステン 18～20Nm/アルミ 8～10Nm ）
3) 3WAYアダプターをスパナで固定し、③左側を取り付けます。
（締め付けトルク：ステン 18～20Nm/アルミ 8～10Nm）
注意:フィッティングを固定して取り付けないでください。
4) 保護チューブを3WAYアダプターに被せます。
5) マスター及びキャリパーにバンジョーアダプター/キャリパーアダプターをバンジョーボルト・アルミワッシャーを使用して取り付けます。
（締め付けトルク：ステン＆アルミ 18～20Nm）



6) 車体にブレーキホースを取り回し、バンジョーアダプター/キャリパーアダプターにそれぞれ取り付けます。
（締め付けトルク：ステン 18～20Nm/アルミ 8～10Nm）
注意：ソケットを締め込むときにホースがねじれないようにしてください。ホースカシメ部をプライヤー等で挟むか、あらかじめ少し逆にねじった状態で取り付けてください。

7) 3WAYアダプターをタイラップで固定します。
8) フロントフォークを上下、ハンドルを左右に切って接触しているところがない事を確認してください。

TK03AB

■ZX-12R 00-03

保護チューブを3等分に切りブレーキホースに保護チューブを通します。3WAYアダプターにホースを固定した後、保護ホースを被せます

アダプターをフォーク側に向けて取り付け、ホースをフォークにタイラップ250mmで固定します。

3WAYアダプターをノーマルホースクランプにタイラップ150mmで固定します。

左右ともノーマルホースクランプは使用しません。

アダプターにホースを取り付けます

⚠ 注 意

フロントフェンダーについているホースクランプは使用しませんので取り外してください。

装着後ブレーキホース/カシメ部等が接触していないことを確認してください
※サスペンションがストロークした時
※ハンドルを左右に切った時

本製品の内容は平成20年09月現在のものです

株式会社 アクティブ
〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目55番地
TEL (0561)72-7011 FAX (0561)72-7012
URL http://www.acv.co.jp

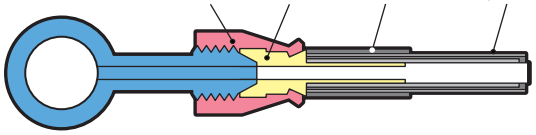
080910HOR02

ACTIVE BRAKE HOSE

アクティブ ステンレスメッシュ ブレーキホース

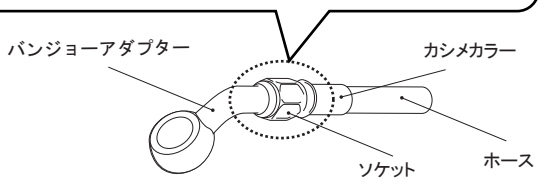
■ 基本取扱説明書

■各部の名称



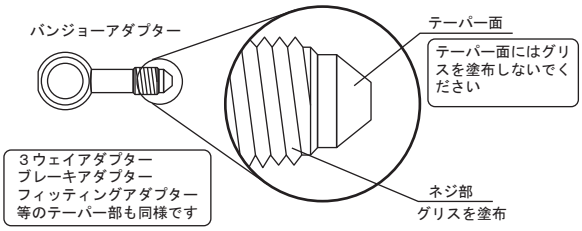
■取付方法

ホースを車輌への取り回しを決めた後に、ソケット部の本締めを行ってください。その際にはサイズの合った工具を用いて、右記注意事項を参照して、 締め付けトルク:ステンレス/18～20Nm・アルミ/8～10Nmで締め付けてください。T-TYPE ホースの場合はT-ジョイント部分も同様に締め付けてください。

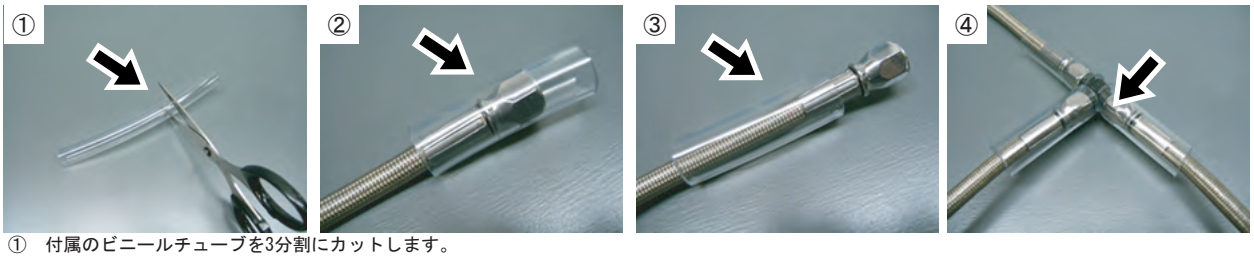


★注意事項★

アダプターはアダプターの先のテーパー面をホース内部のテールに圧着させることによって密着する仕組みになっています。テーパー面は非常に重要な部分ですので傷等を入れないように慎重に取り扱いを行ってください。
（テーパー面に傷等が入った場合オイル漏れを起こす原因になります） また、ネジ部には必ずモリブデングリスを塗布し、締め付けトルクを厳守して組み立ててください。
（締め付け不足はオイル漏れの原因になります）



■ T-TYPE用ビニールチューブの使用方法



① 付属のビニールチューブを3分割にカットします。
・ ※カットする長さは車種別専用取説の指示に従ってください。
② ビニールチューブをホースに通します。
・ ※通しにくい場合にはパーツクリーナー等をチューブ内に塗布して差し込んでください。
③ ビニールチューブを完全にホースの中まで通します。
④ 3WAYアダプターを組み立て、ソケット部にビニールチューブを被せ、保護します。

ACTIVE 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

⚠ 危 険　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

- エンジン始動時及び停止直後はしばらくの間、エンジン・マフラー等は高温になっており、必ず冷間時に作業をすること。（素手で触ると火傷をする恐れがあります）
- 作業を行う際は水平な場所で車輌を安定させた、安全な状態で作業を行うこと。（ オートバイが転倒し怪我をする恐れがあります）
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は火気厳禁のこと。また近くにガソリン等の危険物や可燃物を置かないこと。（火災の原因になります）
- 排気ガスには有害成分が含まれているため、換気のよいところで作業を行うこと。（一酸化炭素中毒等になる恐れがあります）

⚠ 警 告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指示しています。

- ボルト・ナットはサービスマニュアルに従い規定トルクを厳守してください。（締め付け不良はボルト・ナットの破損、部品の脱落等につながる恐れがあります）
- 取り付けは技能・知識のある方を対象としております。整備資格のある販売店または認証工場で行なってください。（製品の機能が損なわれ故障等の原因になります）
- 当社指定車種以外には取り付けは行なわないでください。（製品の機能が損なわれ故障等の原因になります）
- お客様ご自身による分解・改造・修理は危険ですので行なわないでください。修理の際は、お買い上げ販売店または当社までご連絡ください。
- 法定速度を厳守して安全運転を心がけてください。

⚠ 注 意　誤った取り扱いをすると、人が傷害および物的損害を負う可能性が想定される内容を指示しています。

- 取り付けの際には、整備に適した作業着・帽子・安全靴を必ず着用し、必要に応じて防塵眼鏡・防塵マスク・手袋等の保護用具を着用して身体を守ってください。
- 製品取り付け後は、走行前に必ず走行に関する機能が正常であることを確認したうえで走行してください。
- 製品取り付け後は、ボルト・ナット等を約100km走行後改めて規定トルクで増し締めを行なってください。また500km毎に定期点検を、お客様の責任において行なってください
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し安全な場所に停止して異常箇所の点検を行なってください。

本製品の内容は平成22年06月現在のものです　100605KIT01/T